

「ミセスミシンが 何でも縫います」

沼津名物の干物や深海魚をかたどったこいのぼり「ひものぼり」「シーラカンスのぼり」などを制作してきた沼津市のホームペーシ製作会社「オフィスグルー」（窪野岳社長）が地元主婦ら5人をメンバーに、こいのぼり縫製チーム「ミセスミシン」を作った。県外からも大口注文が入ったため、メンバーは「こいのぼり以外も挑戦したい」と意気込んでいる。

【垂水友里香】

主婦ら5人で縫製チーム

使われなくなったこいのぼりを集めて飾る「沼津こいのぼりフェスティバル」に合わせ、

同社は2012年から変わり種を制作してきた。それを知った和歌山県有田市役所から2

月、変わった注文が入った。有田市が漁獲量日本一の太刀魚をかたどったこいのぼり（約6匹）を20匹。「太刀魚の日」をもうけ、お披露目イベントで掲げる計画という。

これまではパート従業員の赤池由貴恵さん（47）が1人で縫製を担当したが、対応しきれないため、知り合いを集めてミセスミシンを

た。メンバーの厚見千枝子さん（64）は「滑りやすい素材の布を6匹も縫い合わせるのは大変。やってもやっても終わらず『帰ってご飯の支度をしなきゃ』みたいな状況だった」と苦笑い。それでも「みんなとあれこれ話しながら仕事ができ楽しい。『ミシンに縫えないものはない』ので、イベントなどで作って

結成した。えんじ色のエプロンと、手作りバツジを付けたユニホームもそろえた。

沼津市内の自治会館

290。

(0555・9433・5

みたいなものがあれば相談してほしい」と話す。問い合わせは同社

にミシンを持ち寄り、朝から暗くなるまで約1週間こもり仕上げ

完成した太刀魚のこいのぼりオフィスグルー提供

